

InterSystems公式

[Yoichi Miyashita](#) · 2021年4月13日

InterSystems IRIS および IRIS for Health バージョン 2020.4 リリースのご案内

インターシステムズは InterSystems IRIS および IRIS for Health バージョン2020.4 をリリースしました。本バージョンは、継続的デリバリー(CD) リリースのため、Docker コンテナ として知られる OCI (Open Container Initiative)形式 (for Linux x86-64 および Linux ARM64) のみ入手いただけます。

コンテナイメージは OCI に準拠した Linux x86-64 および Linux ARM64 対応のランタイムエンジンで動作可能です。

あわせて IRIS Studio 2020.4 もリリースしました。

リリースのビルド番号は 2020.4.0.547.0 です。

【新機能のご紹介】

InterSystems IRIS Data Platform 2020.4 には、以下の新機能が含まれます。

1. アプリケーション および インターフェース開発者向け機能
 - Java SE 11 LTS のサポート (Oracle OpenJDK, AdoptOpenJDK)
 - JDBC 接続プールのサポート
 - セグメント化された仮想ドキュメントのルーティングルールに利用できる "foreach" アクションの導入
2. データベース および システム管理者向け機能
 - ICM において、System Alerting and Monitoring (SAM) と InterSystems API Manager (IAM) の導入をサポート
 - 管理タスク向け SQL シンタックスの拡張
 - InterSystems レポートの導入を簡素化

InterSystems IRIS for Health 2020.4 には、上記に加えて、以下の新機能が含まれます。

- FHIR プロファイルのサポートを含む、FHIR サポートの強化
- IHE プロファイル RMD のサポート
- HL7 マイグレーションツールにおける DataGate のサポート

【開発環境】

InterSystems IRIS Studio 2020.4 は、Microsoft Windows で動作するスタンドアロンの統合開発環境です。InterSystems IRIS と IRIS for Health 2020.4 以前で動作します。

あわせて InterSystems IRIS は、VSCode-ObjectScript プラグインを利用して Visual Studio Code でのアプリケーション開発もサポートします。

Visual Studio Code は Microsoft Windows, Linux, MacOS で動作します。

【キットのご案内】

(1) エンタープライズエディション

InterSystems コンテナレジストリ (ICR) から、次のコマンドで入手いただけます。

```
docker pull containers.intersystems.com/intersystems/iris:2020.4.0.547.0
```

```
docker pull containers.intersystems.com/intersystems/irishealth:2020.4.0.547.0
```

ICR のイメージ一覧は [ドキュメント\(英語\)](#) をご覧ください。

(2) コミュニティエディション

Docker Store から、次のコマンドで 入手いただけます。

```
docker pull store/intersystems/iris-community:2020.4.0.547.0
docker pull store/intersystems/iris-community-arm64:2020.4.0.547.0
docker pull store/intersystems/irishealth-community:2020.4.0.547.0
docker pull store/intersystems/irishealth-community-arm64:2020.4.0.547.0
```

上記(1)(2)のコンテナイメージは全て、WRC ダウンロードページの Continuous Delivery カテゴリから TAR 形式で入手いただけます。

(3) Studio, ODBC ドライバ, Web Gateway

InterSystems IRIS Studio, ODBC ドライバ および Web Gateway などの各種単体コンポーネントは、WRC ダウンロードページの Components カテゴリから入手いただけます。

【製品ドキュメント】

ドキュメント(英語)は以下の通りです。

(1) [サポートプラットフォーム](#)

(2) InterSystems IRIS 2020.4

- [ドキュメント](#)
- [リリースノート](#)

(3) InterSystems IRIS for Health 2020.4

- [ドキュメント](#)
- [リリースノート](#)

[#InterSystems API Manager \(IAM\)](#) [#System Alerting and Monitoring \(SAM\)](#) [#リリース](#) [#継続的デリバリー](#)
[#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#) [#InterSystems公式](#)

ソースURL:<https://jp.community.intersystems.com/post/intersystems-iris-%E3%81%8A%E3%82%88%E3%81%B3-iris-health-%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3-20204-%E3%83%AA%E3%83%AA%E3%83%BC%E3%82%B9%E3%81%AE%E3%81%94%E6%A1%88%E5%86%85>